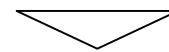
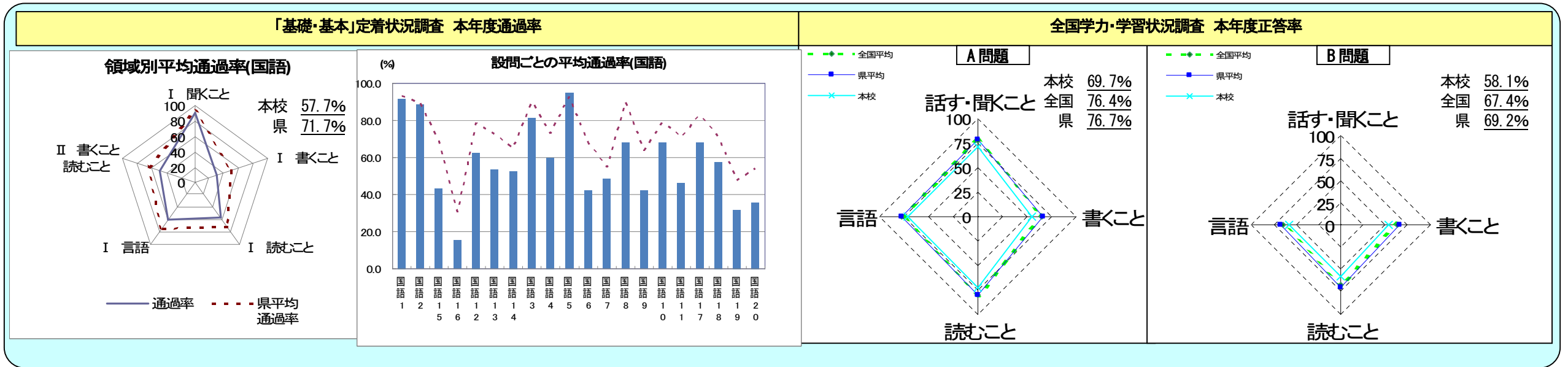


指導方法等の改善計画について〔国語〕

広島市立福木中学校

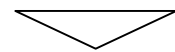
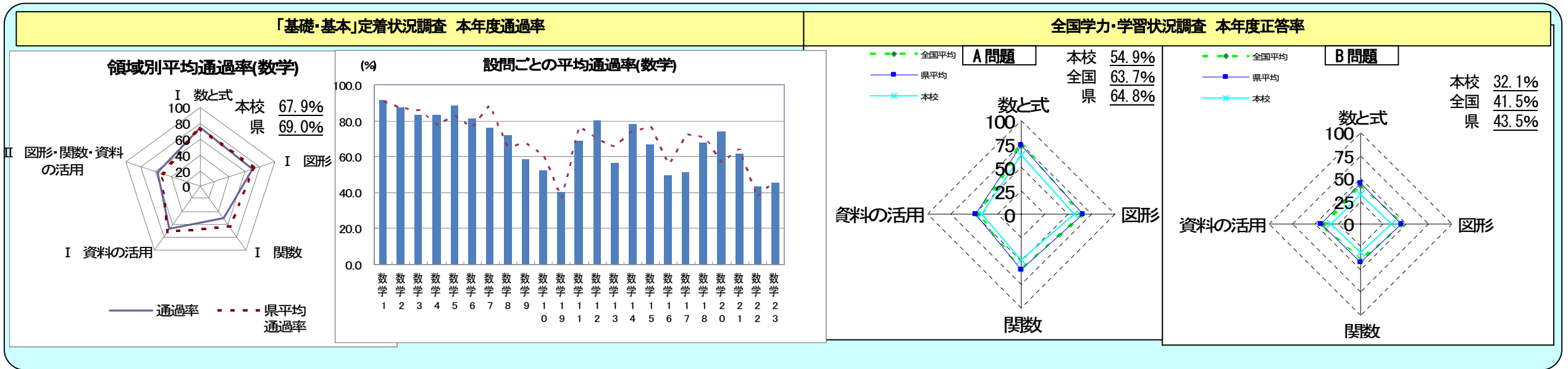


重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 書くこと，特に「根拠に基づいて考えを記述する力」の定着が不十分である。主述の整合や主語の重複など，文章を書くこと自体にも課題が見られる。
- ◇ 文脈に即して漢字を正しく書く・読むことが十分にできていない。無解答率は低い，正しく理解できていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ◎ 作文の授業などの際に班で互いの文章の校正をさせ，推敲する力を養うなかで自分が書いた文章を見直す力をつけさせたい。
- ◇ 授業の始めに漢字の学習の時間を5分設ける。
週に1回テストを行うことで定着の度合いを子ども達に実感させたい。



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 文章から、数量関係を読み取ることや、文字式として表現することが苦手である。また、複数の事象（作図問題）を統合的にとらえることができない

◇ 数学Aにおいて「数と式」および「関数」の領域の平均正答率が低い（「数と式」63.7%、「関数」48.3%）。特に、「関数」においては、一次関数の定着の度合いが低い。

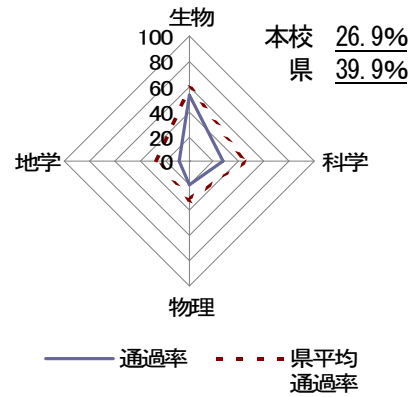
重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎ 計算や式だけでなく、文章を読み取る力、文章の中にある値をどこでどのように使うかの判断力を高めたい。身の回りの具体的な事象など想像しやすい事柄を例として取り上げ、繰り返し取り組むことで苦手意識を取り除きたい。また、作図方法だけでなく、なぜその方法で作図が出来るのかという理由を考える場面を増やし、実際に作業をして覚える取り組みを行う。

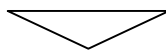
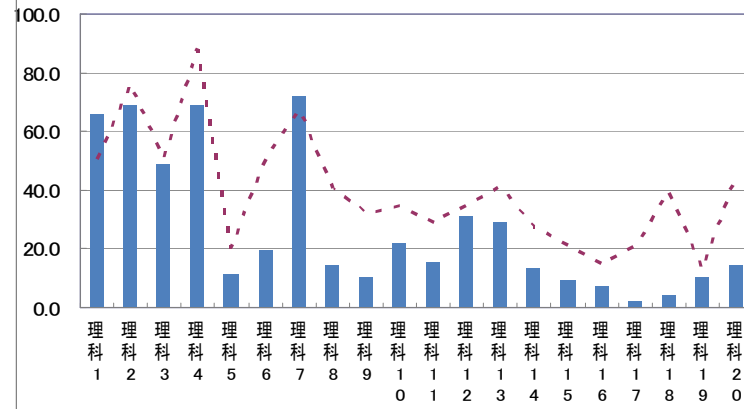
◇ 授業始めに、「数と式」の領域の入試問題に取り組むことにより、意識を高めるとともに定着の度合いを高めていく。一次関数については、第三学年の4章「関数 $y = ax^2$ 」の学習過程や2月頃の授業において復習する機会を設ける。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率

領域別平均通過率(理科)

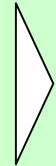


設問ごとの平均通過率(理科)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

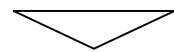
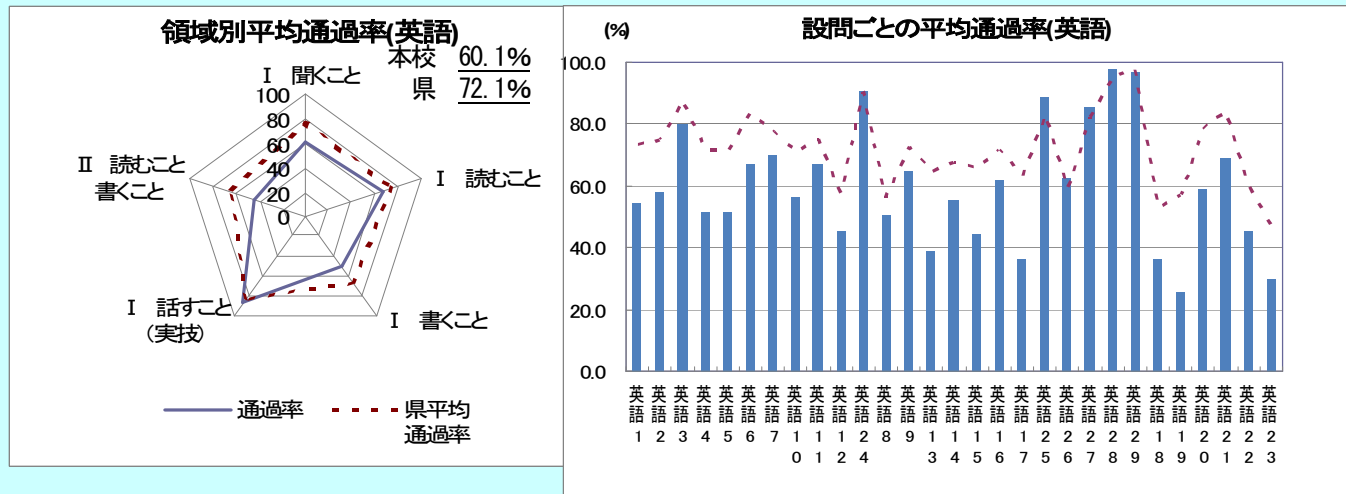
- ◎①実験結果をもとに分析・解釈し、「光合成で二酸化炭素が使われる」という結論を見い出すことができない。(通過率20.0%)
- ◎②岩石を作っている粒の大きさや形などに注目して観察し、堆積岩を判別する技能が身につけていない。(通過率15.2%)
- ◎③地層を空間的にとらえ、離れた地点の地層を対比し、層の広がり方を見い出すことができない。(通過率13.2% 無答率)



重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎①実験結果を基に、どのような変化があればどのような解釈が成り立つのかという段階を整理しながら、観察・実験結果を分析・解釈する活動を十分に取り入れる。
- ◎②観察を行う際には、形、大きさ、色などの特徴を具体的に挙げて観点に注目させるとともに、既習の知識や概念などを提示しながら解釈する活動を十分に取り入れる。
- ◎③空間的にとらえにくい事物については、モデルを作成したり、シミュレーションソフトを用いたりして、じっくりと観察する活動を取り入れる。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①英語の資料や文章を読んで、必要な情報を取り出して、その情報をもとに、自分の考えを英語で書くことができていない。(通過率 44.2%)
- ◎②自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くことができていない。特に、語と語のつながりなどに注意して正しく書くことが課題である。(通過率 50.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎①小テスト、日記を書かせる等、学習のフィードバックを行い、既習事項の定着と家庭学習の習慣化を図る。
- ◎②生徒の興味・関心を高め、学習意欲を持続させるような活動を仕組む。
- ◎③個人思考やペア・小集団による活動の場を効果的に取り入れる。
- ◎④板書やワークシートを工夫し、正しい語順で指示代名詞を意識した、語と語のつながりやまとまりのある英文が書けるようにする。